

JA全農ウィークリー

4
5
面

スタートアップインタビュー (株)おてつたび代表取締役CEO 永岡里菜さん
「人手が必要な人」と「興味のある人」をつなぐ (広報・調査部)

6面

スタートアップ企業と全農の取り組み (株)エアロネクスト



魔法瓶に入った和牛新鮮受精卵の受け渡し(6面)



ファミリーマート店舗に地元の新鮮な農産物を搬入するJA担当者(2面)



北海道ブロッコリー農家でのおてつたび風景(4-5面)

2 **ファミリーマートで地場産農産物の
実証販売開始**(東京都本部、営業開発部)

「**トウモロコシ収穫体験**」開催(山梨県本部)

**3 JA山梨みらいで
「出向く活動スキルアップ研修会」
(山梨県本部・耕種総合対策部)**

**3年ぶりにダイナミックフェア
(茨城県本部)**

7 JAズームイン(JA北つくば・茨城)

8 全農直営飲食店舗で
「よつ葉ミルクフェア」を開催
(フードマーケット事業部)

COUNTDOWN JAPANリスナープレゼント
(広報・調査部)

JAタウンショップ紹介

和歌山発!!ふるさとの便り

**Web
限定**

長野県産りんご三兄弟サワー発売
(全国農協食品(株)、営業開発部)

みのりみのるマルシェ
熊本県「かみましきの実り」開催
(フードマーケット事業部)

夕張メロンフェア開催
(フードマーケット事業部)

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

News!



ファミリーマートで地場産農産物の実証販売開始

地域農業や直売所をPR

東京都本部、営業開発部

東京都本部と営業開発部は、JA東京みどりの直売所「みどりっ子村山」などと連携し、6月21日からファミリーマート武蔵村山新青梅街道店で地場産農産物の実証販売を開始しました。

JA直売所近隣のファミリーマート店舗と連携することで、直売所の営業時間外でも、地元の新鮮な農産物をお客さまに購入していただくことが可能となります。

まず、地域農業や直売所のPRとともに、JA・生産者の販路拡大につながることを期待しています。

販売する農産物は、ファミリーマートの店舗から毎週事前に注文を受け、週に2度、JA担当者が店舗へ搬入します。

この取り組みは、東京都本部と営業開発部が、JAとファミリーマート店舗の間に立ち、双方をサポートすることで実現しました。今後1〜2カ月ほど試験的に販売し、売れ行きなどを見ながら、他店舗への展開を検討していきます。



地元の新鮮な農産物を搬入するJA担当者

ファミリーマート店舗前でJA東京みどりの直売所を知らせるのぼり



News!



「トウモロコシ収穫体験」開催

楽しく・おいしく地産地消を体感

山梨県本部

山梨県本部が運営している農産物直売所「たべるJAんやまなし」は、毎年恒例の「トウモロコシ収穫体験」を6月25日に開催しました。

このイベントは「たべるJAんやまなし」を日頃利用しているお客さまを対象に参加者を募集しました。「楽しく収穫しおいしく食べる」ことで地産地消を体感できる、大変好評なイベントで、年を追うごとに参加希望者が増えています。

当日は猛暑日となり、参加者は流れる汗をぬぐいながら、普段、足を踏み入れることがないトウモロコシ畑

に入りました。採るのに悪戦苦闘しながらも徐々にこつをつかみ、トウモロコシでいっぱいになった収穫がごあちらこちらで見られました。

初めて参加した親子は「買っただけでは味わえない収穫の大変さや喜びを子どもに体験させることができてよかった」「暑くて、採るのは大変だったけど、楽しかった」と、採ったトウモロコシを見せながら話してくれました。

収穫後は、採りたてのトウモロコシの販売を行いました。



欲しいサイズのトウモロコシを探す親子



自分の力で収穫に挑戦



JA山梨みらいで「出向く活動スキルアップ研修会」

訪問営業に生かすコミュニケーション力強化へ

山梨県本部・耕種総合対策部

グループワークに励む参加者



山梨県本部とJA山梨みらいは、営農経済担当職員を対象に「組合員への出向く活動スキルアップ研修会」を6月25日、7月2日に開催しました。

土曜日の開催にもかかわらず、合計66人の営農経済担当職員が出席しました。訪問営業に生かす商談力の基本とコミュニケーション力強化を目的に、(一社)農協

流通研究所の大塚晴美氏を講師に招き研修しました。

JAの萩原爲仁組合長はあいさつで「2019年2月に合併し、支店の統廃合や機構改革を行ってきたが、組合員から距離感が遠くなったと言われていることが増えてきた。その要望に応えるためには、営農経済部門の積極的な訪問活動が重要と考え、出向く体制の強化に取り組むこととした。この研修を通じて、職員一人一人がレベルアップを図り、組合員の力になり、また、信頼されるようになってもらいたい」と話しました。

山梨県本部は引き続き、JAの出向く活動を支援します。



3年ぶりにダイナミックフェア

コロナ対策徹底し農機・生産資材大展示会

茨城県本部



コロナ対策を徹底して開いた農機・生産資材大展示会



30社以上が出展し最新鋭の機械や資材などを展示

茨城県本部は7月2、3日、新型コロナウイルス感染拡大により開催を見合わせていた「農機・生産資材大展示会 ダイナミックフェア」を3年ぶりに開催し、3600人を超える方に来場いただきました。

今回で46回目となるダイナミックフェアは、「スイッチ！稼ぐ未来へ」を開催テーマに設定し、「農家の手取り最大化」や「トータルコスト低減」に向けて、JAグループ・出展メーカーが一丸となって取り組みました。当日は、農業機械メーカーなど合わせて30社以上が出展し、JAグループ共同購入

トラクター第2弾(中型)「SL33」の展示をはじめ、各メーカーブースでは、最新鋭の機械展示、自動運転技術のデモンストレーションやドローン(小型無人飛行機)展示による省力化提案などを行いました。

開催にあたり、新型コロナウイルス感染対策として、「会場入口での検温」「除菌テントの設置」「食事禁止」「マスクの着用」を実施しました。そのほかにも、出展メーカーの展示面積縮小や、出品台数を減らすことで通路の幅を広くするなど、密を避ける対策に取り組みました。



永岡社長

お手伝い×旅

「人手が必要な人」と

「地域や農業に興味のある人」をつなぐ

(株)おてつたび 代表取締役CEO 永岡里菜さん

2019年の「JAアクセラレーター」第1期に採択された(株)おてつたび。旅先でのお手伝い(仕事)をマッチングする同社が新型コロナウイルスを経験してどのような変化があったか、現在の事業や取り組みについて代表取締役CEOの永岡里菜さんにお話を聞きました。

【広報・調査部】

あらためて事業について 教えてください。

「おてつたび」は「お手伝い」と「旅」を掛け合わせた造語で、地域で短期的・季節的な人手不足に困っている人と、地域や農業に興味のある人が出会えるサービスです。「JAアクセラレーター」採択前は受け入れ先のほとんどがホテル・旅館でしたが、現在は農業などの1次産業が全体の4割、ホテルや旅館などが4割、残りが飲食店やイベントなどとなっています。

新型コロナウイルスによる 影響はありましたか。

おてつたびは移動を伴うサービスなので、初めて緊急事態宣言が出されたときは難しい局面がありました。一方で、農家さんから「技能実習生が来られなくなつて人手が足りず困っている」という相談もいただきました。その時はちょうど春の定植の時期で、ここでの人手不足はその年の収入に直撃するようなタイミングでした。そこで、同様に緊急事態宣言で営業ができ

なくなってしまったホテルや旅館の従業員や飲食業の方に募集しました。仕事がなくなつたからというだけでなく、「もともと1次産業に興味があった」「職場で食に触れているので生産現場を見てみたかった」という声もありました。

おてつたびがあったからこそ、困っている人同士のつながりができたり、縁が生まれたりと、コロナの影響は悪いことだけじゃなかったと感じています。

現在、利用者は どのような方ですか。

コロナ前は学生が7割ぐらいでしたが今は半分ほどです。年代で見ると、20代が半分ほどで30代が2割、40代が2割、残りが50、60代です。学生は体験として、旅をしながらお手伝い

地域のお手伝い

交通費削減

スキル活用

地域との交流



おてつたび

報酬・寝床



人手不足解消

魅力再発見

関係人口増加

をしたいという方が多いですが、それ以上やシニア世代になると地域貢献や、いろんな年代や地域の人と交流したいという人も。個人で参加している人の中には、午前中おてつたびに参加して午後は自分の仕事をするなど、ワーケーションとして利用している方もいます。

農業現場ではどのような事例がありますか？

昨年、取り組んだ北海道のブロッコリー収穫に10人前後の人が参加しました。大学生を中心に農作業を通じて地域の人も積極的に交流を深めていました。農家の大変さや現実を痛感し

て、農家さんへの尊敬の念が生まれたという話も聞いています。また、面白いなと思ったのは、その北海道のブロッコリー農家さんたちが農閑期のおてつたびを使って愛媛県の農家のもとへ、お手伝いに行っていたことです。受け入れ先の農家さんも農業のことを分かっている人が来てくれてありがたかったという評価を受けました。

2020年から始まったJ Aとのコラボの事例を教えてください。

個人的に興味深かったのが、

広島県JA三原のある尾道市瀬戸田エリアとの取り組みです。瀬戸田はレモンの産地で、農業の現場では冬が繁忙期ですが、観光業界は閑散期になります。おてつたびが地域活性化にもつながる流れをつくることができました。のではないかと確信したような事例ですね。

農家やJAがおてつたびを利用する際に必要な条件・要素はありますか？

大前提として、おてつたびのビジョンやコンセプトに共感していただけるか、というのがあります。単なる雇用する・されるではなく今の時代は双方が対等でなければ、なかなかいい仕事ができなくなっているように感じています。仲間として日常を共にしていただけると、とても良い関係ができるのかなと思っています。おてつたびの後もお手伝いした農家さんの農産物を購入したり、その地域を訪れたり、中には就農した方も出てきています。それはやっぱり一緒に汗水流して仲間になったからこそ関係性だと思っています。

今後の展開を教えてください。

農家さんを筆頭に、地域には素敵な人やかつこいと思える人がたくさんいます。まずはそれを知ってもらって、ファンになってもらえるような形を引き続き作っていきたいと思っています。この先、人口が減っていくのは目に見えている事実なので、おてつたびで農業の大変なところも美しいところも全部知ってもらえるような取り組みを行い、農業や地域の魅力発信により力を入れていきたいと思っています。



北海道ブロッコリー農家での
おてつたび風景



全農ウィークリー
2020年2月3日号
インタビューはこちら



株式会社おてつたびの
サイトはこちら



ドローンで和牛新鮮受精卵の配送実験を実施

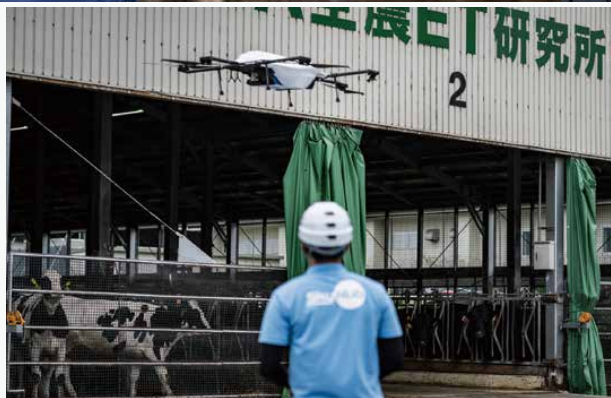
Ag Venture Lab(アグベンチャーラボ)が取り組むJAア
クセラレーター第3期(令和3年度)採択先の(株)エアロネクストの子会
社でドローン(小型無人飛行機)配送サービスを行う(株)NEXT
DELIVERYは7月1日、世界で初めて和牛新鮮受精卵のドローン配
送実験を行いました。

【経営企画部】



魔法瓶に入った和牛新鮮受精卵の受け渡し

Ag Venture
Labのスタートアップ企
業とJAグループの事業
共創の取り組みである
「JAアクセラレーター」



ドローンの離陸風景

第3期で採択し支援した
エアロネクストは、北海道
上士幌町、JA上士幌町
と連携し、JA全農ET
研究所(上士幌町)が行っ
ている受精卵移植(ET)
事業における酪農家への
配送(車両による陸送)業
務を、ドローン空輸により
効率化を目指す実証実験
を行いました。

エアロネクストは、車両
による陸送とドローンに
よる空輸を融合した「新ス
マート物流」の社会実装を
目指しているスタートアップ
企業。山梨県小菅村や
上士幌町などと包括連携
協定を締結し、ドローン物
流の実現を目指していま
す。

JA全農ET研究所は
黒毛和牛から採卵・選別
した新鮮受精卵を周辺の
酪農家まで車両で陸送、
乳牛への移植を行っていま
す。エアロネクストはJA



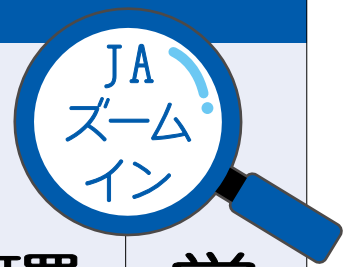
段ボールに入った魔法瓶が到着

アクセラレーター第3期
終了以降も本実証実験の
検討を行い、今回実現に
至りました。

今回の実証実験では、
JA上士幌町管内の数軒
の酪農家が協力。そのう
ち研究所から約10kmの距
離にある熊谷牧場にはド
ローンを使って受精卵を
13分ほどで空輸し、ただ
ちに乳牛に移植しました。
新鮮受精卵は凍結受精

卵に比べて必要な資材が少
ないことに加え、エアロネ
クストが開発したドローン
の機体構造設計技術「4D
GRAVITY®」により、
受精卵へ与える振動を減
らしながら、直線距離で
空輸することで配送時間
が短縮でき、さらなる受
胎率の向上が期待できま
す。また、受精卵移植師ま
たは獣医師に受精卵の受
け取りを依頼できるなど、
配送から移植までの一連の
オペレーションにかかる労
働力の削減も期待できま
す。

ドローン物流の社会実
装には法規制などにより
実現までに時間を要する
ものと見込まれています。
実用化に向けてより過酷
な環境下(雪・氷点下など)
でも安定して配送できる
かなど、今後もさまざま
な検証に取り組んでいき
ます。



労働力軽減により歴史ある梨産地を継承

環境問題を考慮した資材高騰対策

JA北つくばは、筑西市、結城市、桜川市の3市にま

たがった広域JAです。関東平野のほぼ中央、紫峰筑波山を南東に臨む茨城県

の北西部に位置します。温暖な気候と管内を流れる1級河川は豊富な水量を誇り、この豊かな大地と恵まれた環境の中で穀物、青果、畜産と100種類を超える農畜産物を生産しています。

資材高騰対策に併せて水稲収量改善試験も

肥料をはじめとする各種生産資材の価格高騰対策に併せ、持続可能な開発目標(SDGs)で叫ばれる環境負荷問題への

収量・品質向上に向けた堆肥と混合した肥料の散布試験



労働力軽減や品質の高位平準化を目的に新設した梨選果場

対応に向けた水稲収量改善試験を実施しています。肥料取締法改正に伴う堆肥と混合した肥料を使用し、土壌改良による収量・品質向上を進めています。また、プラスチックコーティングを使用していないため、マイクロプラスチック流出削減にも大きく貢献



ギフトや市場へのさまざまな需要に対応した選果設備(上から3kg・5kg・10kgダンボール)

新たな梨選果場稼働開始

JA北つくばの地域は徳川時代末期(1860年

献できると期待しています。

試験は単年度ではなく継続して土壌改良効果の結果を確認し、国際情勢に左右されない農業経営を目指すとともに、コスト低減・収量アップによる所得増大に取り組めます。

る)から始まる歴史ある梨産地であり、旧真壁郡関城町(現筑西市)の「関本なし」として親しまれていました。長きにわたる梨栽培の歴史は今日においても継承されており、販売先などで高い評価を受けています。

同JAでは、生産者の労働力軽減および品質の高位平準化を目的に、梨選果場を新設し76人(60ha)の梨生産者が選果場へ梨を出荷しています。新しい選果場は光センサーやギフト需要に対応する3kg箱製函ラインを設置し、「選果室」を設け衛生管理を徹底、作業環境の整備により、今後さまざまなニーズに対応した販売が期待されます。

JA北つくば(茨城県)



概要

令和4年1月31日現在

正組合員数	1万5149人
准組合員数	7670人
職員数	337人
販売品取扱高	147億6千万円
購買品取扱高	52億3千万円
貯金残高	2202億2千万円
長期共済保有高	5866億9千万円
主な農産物	米、トマト、小玉スイカ、キュウリ、ハクサイ、梨他

夏休みのお楽しみ!北海道産乳製品で特別メニュー

全農直営飲食店舗が「よつ葉ミルクフェア」を開催

全農は、北海道・東京の直営飲食店舗(3店舗)で8月17日まで、よつ葉乳業株式
とのタイアップ企画「よつ葉ミルクフェア」を開催します。【フードマーケット事業部】

よつ葉乳業は、「北海道のおいしさ
を、まっすぐ。」をコーポレートスローガ
ンに、おいしく安全で高品質な牛乳・
乳製品を全国にお届けしています。

みのるダイニング札幌店では、北海
道産牛豚肉を使った自家製ハンバー
グにチーズたっぷりの「チーズフォン
デュ風ハンバーグ定食」や、暑い季節
に飲みたいくなる「ひんやりヨーグルト
シェイク」を提供します。

また、みのりカフェ銀座店では、「バ
スクチーズケーキ」や「フルーツサン
ド」「カマンベールチーズフライ」など、
おやつにぴったりなメニューを、みのる
食堂銀座店では季節の果物と合わせ
た「白いティラミスパフェ」などのスイ
ツメニューを展開します。

酪農王国・北海道が誇る「よつ葉ミ
ルクフェア」メニューをぜひご賞味くだ
さい。



カマンベールチーズフライ
(みのりカフェ銀座店)



チーズフォンデュ風ハンバーグ定食
(みのるダイニング札幌ステラプレイス店)

よつ葉乳業の
サイトはこちら



みのりみのるPJの
サイトはこちら



【メニュー提供概要】

期間 令和4年7月21日(木)~
8月17日(水)

実施店舗

みのるダイニング札幌ステラプレイス店(札幌市中央区北5条西2丁目)
みのりカフェ三越銀座店(東京都中央区銀座4-6-16)
みのる食堂三越銀座店(東京都中央区銀座4-6-16)

毎週土曜日13時~ TOKYO FM系列38局ネット

全農 ZEN-NOH

COUNTDOWN JAPAN リスナープレゼント

7月30日放送のプレゼントは、「尾花沢すいか」です。
山形県は夏スイカの生産量が日本一。なかでも、県内
屈指の産地を誇る尾花沢は、山々に囲まれた盆地で日
中は暑く、夜は涼しい寒暖差の激しい場所です。

豊かな自然と生産者のたゆまぬ努力による栽培技
術の向上により、ずっしりと甘く、水分をたっぷりと含ん
で、夏らしいシャリ感のある、品質の高いスイカが生産さ
れています。

【広報・調査部】



応募は番組ホームページで受付中です。



応募締め切りは7月30日の放送
でランキング1位の曲が発表される
までです。

こちらの商品はJAタウンからご購入いただけます。

JAタウン
ショップ名

小さなYAMAGATAマルシェ



JA全農のインターネットショッピングモール

JAタウン ショップ紹介

和歌山発!! ふるさとのお便り

冬にこたつで食べるイメージが強い温州ミカンですが、
ハウスで栽培したミカンは春から夏にかけてが旬。徹底さ
れたハウス内の温度や水分のコントロールにより、糖度の
高いミカンに育ちます。冬のミカンと比べて果皮は薄くてや
わらかく、味わいは濃厚。

暑い夏には冷蔵庫で冷やして食べるとおいしさが際立ち
ます。この季節ならではのジュシーでフレッシュなハウス
ミカンをお楽しみください。



ハウスみかん400g×4パック.....6000円(税込み)

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☑ shop@ja-town1.com



『JA全農トピックス』の
ツイッターはこちらから



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。